

殿

600V ビニル絶縁ビニルシースケーブル平形

仕様書

(VVF)

SFCC株式会社



協和電線工業株式会社

## 600V ビニル絶縁ビニルシースケーブル平形 (VVF)

### 1. 適用規格

この仕様書の適用規格を次に示す。特に指定のない限り、規格は最新版を適用する。

JIS C 3342 600V ビニル絶縁ビニルシースケーブル  
JIS C 3005 ゴム・プラスチック絶縁電線試験方法

### 2. 構造

付表、断面図及び次による。

- (1) 導体 : JIS C 3102 に準じた電気用軟銅線による単線
- (2) 絶縁体 : ビニル  
平均厚さ : 付表の値の 90%以上  
最小厚さ : 付表の値の 80%以上
- (3) 線心の識別 : 絶縁体又は絶縁体表面の着色による。  
2心 : 黒・白  
3心 : 黒・白・赤、黒・白・緑、赤・白・緑、黒・赤・緑  
4心 : 黒・白・赤・緑
- (4) シース : ビニル  
色 : 灰色  
平均厚さ : 付表の値の 90%以上  
最小厚さ : 付表の値の 80%以上

### 3. ケーブルの表示

適切なところに次の事項を連続表示する。

- (1) ブランド名 (SWCC・FURUKAWA)
- (2) 電気用品表示 (PSE マーク)
- (3) 製造業者略号 (KYOWA)
- (4) 製造年
- (5) JIS 認証表示…4心を除く。
- (6) 記号 (VV)
- (7) 導体サイズ
- (8) 鉛フリービニルの表示 (LFV)
- (9) 200LINE 及びストレートライン (200LINE の場合、橙色)

### 4. 試験

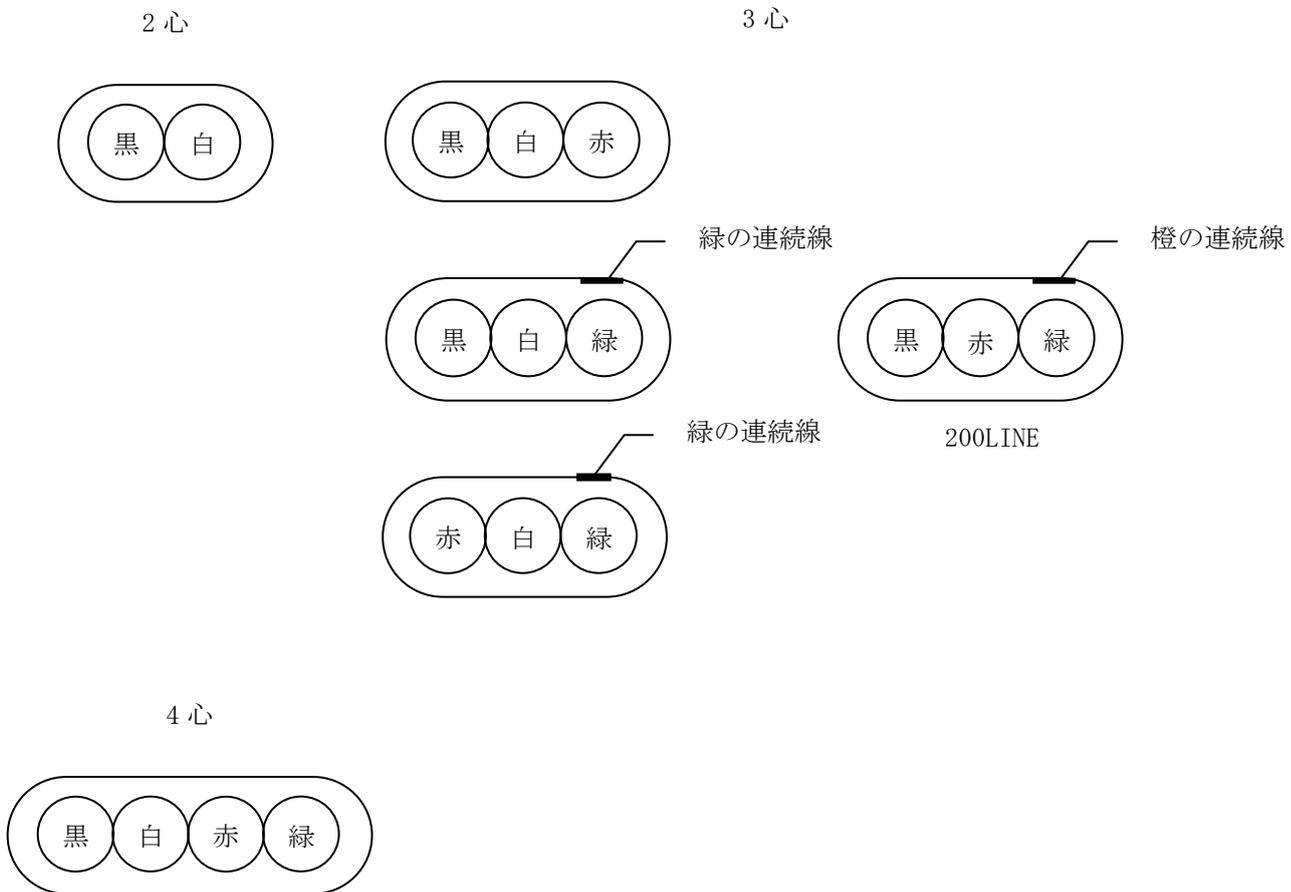
JIS C 3005 により工場出荷前に次の試験を行う。

- (1) 外観
- (2) 構造
- (3) 導体抵抗
- (4) 耐電圧 (水中又は空中のいずれかによる。)
- (5) 絶縁抵抗

5. 包装  
1条ずつドラム巻き又はたば巻きとし、運搬中損傷の恐れがないように適切な方法で行う。
6. 特性  
下表の通りとする。

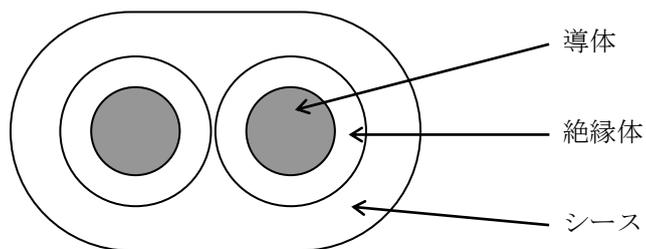
項目		特性	
導体抵抗		付表の値以下	
耐電圧	水中	付表の試験電圧に1分間耐えること。	
	空中	付表の2倍の試験電圧に1分間耐えること。	
絶縁抵抗		付表の値以上	
絶縁体及びシースの引張り	絶縁体	引張強さ	10MPa 以上
		伸び	100%以上
	シース	引張強さ	10MPa 以上
		伸び	120%以上
加熱 (100±2℃×48 時間)	絶縁体、シース	引張強さ	加熱前の値の 85%以上
		伸び	加熱前の値の 80%以上
耐油 (70±2℃×4 時間)	絶縁体	引張強さ	浸油前の値の 85%以上
		伸び	浸油前の値の 85%以上
	シース	引張強さ	浸油前の値の 80%以上
		伸び	浸油前の値の 60%以上
巻付加熱(120±3℃)	絶縁体 シース	表面にひび、割れを生じないこと。	
低温巻付け(-10±1℃)	絶縁体		
耐寒(-15±0.5℃)	シース	試験片が破壊しないこと。	
加熱変形(120±3℃×0.5 時間)	絶縁体 シース	厚さの減少率 50%以下	
難燃(傾斜試験)	完成品	60 秒以内に自然に消えること。	

識別・配列図



断面図

例：2心



付表 600V ビニル絶縁ビニルシースケーブル平形 (VVF)

線心数	導体径 mm	絶縁体 厚さ mm	シース 厚さ mm	仕上外径 (約) mm	最大 導体抵抗 (20℃) Ω/km	試験電圧 V	最小 絶縁抵抗 (20℃) MΩ・km	参考	
								概算質量 kg/km	標準条長 m
2	1.6	0.8	1.5	6.2×9.4	8.92	1500	50	90	100
	2.0	0.8	1.5	6.6×10.5	5.65	1500	50	120	100
	2.6	1.0	1.5	7.6×12.5	3.35	1500	50	180	100
3	1.6	0.8	1.5	6.2×13.0	8.92	1500	50	130	100
	2.0	0.8	1.5	6.6×14.0	5.65	1500	50	180	100
	2.6	1.0	1.5	7.6×17.0	3.35	1500	50	270	100
4	1.6	0.8	1.5	6.2×16.0	8.92	1500	50	180	100
	2.0	0.8	1.5	6.6×18.0	5.65	1500	50	240	100